

産業を振興し、豊かなまちをつくる

生産性の高い農業の振興と魅力的な商店街の形成や工業の高度化を図り、活力にあふれるまちづくりを進めます。

地産地消を推進

農産物直売所を掲載したマップや農産物直売所に設置するのぼり旗の作成、行田在来青大豆の普及・促進など、地元で生産された農産物を地元で消費する「地産地消」の体制の整備と活動支援を行っています。

田んぼアートのPRと米作振興

「観光地・行田」のPRと米作振興を目的とした田んぼアートによる米づくり体験を、昨年度に続き古代蓮の里東側の田んぼで実施。面積を前年の2倍の約6千平方メートルに拡大し、県産米「彩のかがやき」をはじめ6種類の品種の苗を植えて巨大な古代蓮の絵を描きました。

ゼリーフライ・フライで知名度アップ

行田の郷土料理であるゼリーフライとフライを全国に向けてPRするための取り組みとして、第2回行田市B級グルメ大会を市役所周辺で開催したほか、商標登録の完了に合わせて「こぜにちゃん」「フラベえ」の着ぐるみを作製しました。こぜにちゃんとフラベえは、県のゆる玉

応援団に入団し、本市の魅力を積極的に発信します。



各種イベントで本市をPRする「こぜにちゃん」と「フラベえ」

定額給付金レシート大作戦

景気後退による国の地域経済対策として給付された定額給付金を市内で使用してもらい、地域経済の活性化を促進するため、市内で買い物をした市民の皆さんを対象に、地デジ対応液晶テレビや商品券が当たるキャンペーンを行田市商店会連合会などと協力して実施。約2カ月間で3万7千338通もの応募があり、約4億円の経済効果（試算）がありました。

心ふれあうまちをつくる

市民参加を積極的に促進するとともに、みんなで助け合う心豊かなまちづくりを

進めます。

新しいのにコミュニティセンター

「コミュニティセンターみずしろ」のリニューアルを行い、新たに、授乳室や娯楽室、市民公益活動情報コーナー、駐車場などを設け、市民の皆さんがより利用しやすい施設となりました。

分かりやすく利用しやすいホームページに

誰もが分かりやすく利用しやすいホームページを目指し、市ホームページを全面リニューアル。日本ウェブ協会で設ける使いやすさの審査基準をクリアした優れたウェブサイトを表彰する「日本ウェブ協会主催 第4回アックゼロヨン・ワード」で入賞しました。

市民参加による未来の行田のまちづくり

平成23年度から32年度までを計画期間とし、新たなまちづくりの指針となる第5次行田市総合振興計画の策定を、多くの市民の方々に参加していただき進めています。

「市民総参加の計画づくり」を目指しているこの計画では、20歳以上の市民3千人を対象にアンケートを実施したほか、「ぎょうだ夢づくり会議」に参加していただいた皆さんには、市の課題やあるべき姿について世代を超えた話し合いを重ね、その成果を市に対する提言としてまとめていただきました。



市民が参加し開催された「ぎょうだ夢づくり会議」

○市制施行60周年を祝う記念事業を実施

「元氣な行田 輝く未来へ！」をテーマに、市制施行60周年を記念して数々のイベントなどを実施。NHK「ごきげん歌謡笑劇団」公開録画、蓮サミット、行田の偉人学習事業、第九演奏会などを開催したほか、古代蓮を新たに市の花に指定するなど、さまざまな記念事業を行いました。

* * * * *

このほか、景気低迷への対応として、公共事業による地域経済の活性化策を講じるとともに、県の緊急雇用関連基金を幅広く活用し、積極的に雇用を創出することにより、市民の暮らしの安心・安全の確保を図りました。